

～男女共同参画であなたもわたしもハッピーに～ ウィズレター

2026年
9月
67号

発行 市川市 総務部 ダイバーシティ推進課
市川市市川1丁目24番2号
電話 047-322-6700 FAX 047-322-6888

市川市男女共同参画センター **ウィズ** 

男女共同参画センター（愛称 ウィズ）は、性別にかかわらず対等な立場であらゆる活動に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現を目指すための拠点施設です。
愛称の“ウィズ”は、男女ともに、老いも若きもともにという意味が込められています。

防災と男女共同参画

近年、自然災害の頻発化・激甚化が進行し、直近でも熊本地震や千葉豪雨などによる大きな被害が出ており、災害対策の重要性が高まっています。

災害から受ける影響は男性と女性で異なるため、避難所運営や復興の課題について男女がともに検討することは、災害時の困難を軽減させることにつながります。

なお、本市では、女性の視点から災害への備えや災害発生後の避難所運営等について検討する「防災女性プロジェクト（BJ☆プロジェクト）」や、和洋女子大学の授業で開講される「防災・減災女性リーダー養成講座」への協力といった取り組みを行っています。

〇性別に配慮した避難所運営のポイント（内閣府男女共同参画局HPより抜粋）

- ・トイレ、物干し場、更衣室、休憩スペース、入浴設備は男女別に分ける。
- ・授乳室を設ける。
- ・女性用品の配布場所を設け、女性が配布する。
- ・避難所の巡回警備は男女ペアで行う。
- ・リーダー、食事作りなどの特定の活動が特定の性別に偏らないよう配慮する。



災害はいつ起こるか分かりません。
この機会に防災について考えてみてはいかがでしょうか！



学ぼう！性的マイノリティ

ウィズレターでは、43号より性的マイノリティ（LGBTQ+）の記事を連載しています。

今回は、「性の多様性に配慮した避難所運営」について説明します。

私たちの性は多様であり、避難者の中にもLGBTQ+の人が一定程度いらっしゃる前提で避難所のあり方を検討することが大切です。

そのために紹介したいのが、「岩手レインボーネットワーク」「高知ヘルプデスク」が東日本大震災をきっかけに制作した「にじいろ防災ガイド」です。

セクシャルマイノリティ関連の災害時の困りごとや対応例が記載されており、避難所等で起こりうる困難や問題点を事前に把握・想定する手助けとなります。

それらについて把握しておくことは、生理用品、髭剃りなどの男女が区別されやすい物資の受け取りや、同性パートナーとの避難所生活におけるプライバシーの確保などから生じる当事者の精神的負担の軽減につながります。

QRコードを掲載しますので、ぜひご覧いただき、理解を深めていきましょう！

避難所では、LGBTQ+当事者に限らず、一人ひとり必要とする支援が異なることに留意することも大切です。



にじいろ防災ガイド
QRコード



講座開催のお知らせ

男女共同参画と多様性の視点から、防災について考える講座を開催します。
平時から災害に備えていきましょう！

講座名：男女共同参画防災講座

「もしも」に備える、わたしたちの防災

日時：令和8年10月17日（土）9時15分～11時00分

場所：市川市男女共同参画センター 6階 研修室F

講師：葛西 優香氏（株式会社いのちとぶんか社 取締役）

講座内容：性別により異なる困りごとやニーズ

自助や共助について 等



こちらのQRコードからお申込みください！

